

授業構成（例）

※以下は参考例であり、実際には、学校側の希望に応じて、柔軟に調整させていただきます。

時間		授業内容等	生徒の学習活動
導入	5分 ～ 10分	【講師自己紹介】 【キーワードを示して理解目標を知る】 > 市場経済 > 競争 > 独占 > カルテル > 独占禁止法 > 公正取引委員会	○市場経済の仕組み ○競争の必要性 ○独占禁止法の概要 等を総合的に理解する。
	30分 ～ 35分	【展開① ゲーム形式】 クラスを複数のグループに分け、他のグループと価格競争やサービス競争を行い、消費者を獲得する。 販売店となった各グループは、地域で売上ナンバー1を目指し、より多くの消費者を獲得できるよう販売方法（競争カード）を考える。	市場における競争の必要性、競争による消費者のメリットを理解する。 独占禁止法違反行為（独占、カルテルなど）による消費者のデメリットを理解する。
展開		【展開② 事例紹介】 身近な商品等についての「独占」や「カルテル」などの実例等を紹介する。	日常生活との結び付きを実感し、問題意識を高める。
		【展開③ 模擬立入検査・模擬事情聴取】 先生や生徒も参加して、独占禁止法違反の疑いのある会社への立入検査や会社の担当者への事情聴取を体験する。 例：先生→違反企業の社長役 生徒→違反企業の部長役、公正取引委員会の審査官役	公正取引委員会の役割・業務を理解する。
まとめ	5分 ～ 10分	【まとめ】 ☆市場経済の仕組み ☆企業間競争の重要性（競争による消費者の利益） ☆独占禁止法の役割 【質疑応答】 【若手職員によるキャリア教育】 ☆国家公務員とは ☆公正取引委員会での実際の仕事などの経験談	総合的な印象を得る。 疑問点を解消する。